



2024年5月14日

各位

会社名 築地魚市場株式会社
代表者名 代表取締役社長 山崎 康司
(コード番号 8039 東証スタンダード)
問合せ先 取締役常務執行役員
管理本部長 大竹 利夫
(TEL 03 - 6633 - 3510)

「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」に関するお知らせ

当社は、「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」に関する東京証券取引所からの要請を踏まえ、資本コスト、資本収益性、市場の評価について評価・分析、並びに今後の対応を検討してまいりました。

本日、2024年5月14日の取締役会において、資本コストや株価を意識した経営の実現を図るため、下記の方針及び具体的な取り組み（新中期経営計画）を決議しましたのでお知らせいたします。

記

1. 指標等の推移

当社グループの過去の評価及び現状分析に用いた指標等は以下のとおりであります。

	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
ROE	9.6%	4.6%	3.7%	3.2%
売上高純利益率	0.8%	0.5%	0.4%	0.3%
総資産回転率	4.3回転	3.5回転	3.4回転	3.4回転
財務レバレッジ	2.9倍	2.8倍	2.8倍	2.7倍
株価 ※	1,994円	2,779円	2,752円	3,475円
時価総額	4,474百万円	6,196百万円	6,152百万円	7,796百万円
PBR	0.79倍	1.07倍	1.00倍	1.22倍
PER	8.6倍	23.6倍	27.5倍	38.2倍
ネットDER	0.69倍	0.66倍	0.68倍	0.48倍

※期末日時点での株価を表示しております。

2. 過去の評価及び現状分析

当社グループの過去の評価と現状分析について以下のとおりとなっております。

ROEについては、2021年3月期は固定資産売却益等により、2022年3月期から2024年3月期は投資有価証券売却益等により当期純利益が増加したことで変動しております。またROEを要因分解をすると売上高純利益率が低迷しており、本業である水産物卸売業のセグメント利益が十分に確保できていないことがROEを低迷させている要因であると認識しております。

PBRについては、現在までPBR1倍超えを維持しており、またPERについては、2021年3月期は固定

資産売却益の計上で一時的に当期純利益が増加したため市場平均と言われている 15 倍を下回ったものの、ここ数年は再び 15 倍を超えております。

3. 方針及び目標

当社グループは、資本コストと株価をより一段と意識した経営に努め、持続的な成長と収益性の向上を図っております。このことを実現するために新中期経営計画を策定し、積極的な営業活動と成長戦略に資する投資により、業容の拡大を目指すとともにDX等の活用により更なるサービス品質の向上と合理化を推し進め、利益率の向上に努めます。こうした施策を推進することにより、当社グループは、旧来型の荷受会社から広範な機能を有する販売会社への転換を図ることにより、引き続き ROE 向上を目指しながら社会及び市場から選ばれ続ける企業グループを目指します。

4. 具体的な取組み

当社の具体的な取組みにつきましては、本日、2024 年 5 月 14 日発表の「新中期経営計画策定のお知らせ」をご参照ください。

以上